

- 第65回 定期学術集会・総会のご案内 1.2面
- 理事会ニュース 2.3面
- 若手医師の立場から 4面
- 専門医試験のご案内 4面

JUST NOW JATS

CHALLENGE FOR THE FUTURE!

2012-09 No.16



特定非営利活動法人 日本胸部外科学会
The Japanese Association for Thoracic Surgery

<http://www.congre.co.jp/jats65/>

第65回 日本胸部外科学会定期学術集会

Specialist must know everything of something, something of everything.
— 学際と統合 —



2012年 10/17 [水] ~ 20 [土]

福岡国際会議場・福岡サンパレス ホテルホール

- | | | |
|----|--------|--------------|
| 会長 | 藤田 博正 | 久留米大学医学部外科教室 |
| 幹事 | 田中 啓之俊 | 久留米大学医学部外科教室 |
| 幹事 | 明石 英信 | 久留米大学医学部外科教室 |
| 幹事 | 高田 森三 | 久留米大学医学部外科教室 |
| 幹事 | 高田 信寿 | 久留米大学医学部外科教室 |

〒816-0202 福岡市東区東区東1-1-1
TEL 092-716-1116 FAX 092-716-1143 E-mail jats65@congre.co.jp

定期学術集会のご案内

学術集会のテーマ
「学際と統合」
第65回定期学術集会の総合テーマは「Specialist must know everything of something, something of everything. — 学際と統合」としました。この言葉は卒業式で、医学部長より送られたものと記憶しています。自分の専門を学ぶことで一杯であった時期には忘れかけていた言葉ですが、年と共にこの言葉の重

第65回日本胸部外科学会定期学術集会を平成24年10月17日(水)〜20日(土)、福岡市の福岡国際会議場ならびに福岡サンパレスホテル&ホールにおいて開催します。日本胸部外科学会は戦後まもない1948年に設立され(私と同じ年)、心臓血管外科、呼吸器外科、食道外科の進歩とともに発展し、その歴史と会員数では、外科系で日本外科学会、日本消化器外科学会と並ぶ学会といえます。このような名誉ある学会を食道外科医が主催させていただくのは、内田雄三教授以来12年ぶりとなります。食道外科分野の会員のお力添えのみならず、他分野の会員の皆様の配慮の賜と深く感謝しています。

みを感じるようになりまし
た。日本胸部外科学会は学
際的総合学会です。心臓血
管外科医には日本心臓血管
外科学会が、呼吸器外科医
には日本呼吸器外科学会
が、食道外科医には日本食
道学会というそれぞれ専門
学会があります。各分野の
発展と共に専門学会が設立
され、それと共に互いの交
流が希薄になりつつありま
す。日本胸部外科学会はこ
れら専門学会の単なる集合
でなく、分野間にある問題

学術集会の企画
坂田隆造理事長の理事長
講演「2012年活動報
告」、私藤田の会長講演「進
行食道癌への挑戦」の他、
特別講演として、日本医師
会会長で久留米大学外科の
同門でもある横倉義武先生
に日本医師会の新体制につ
いてご講演をお願いしまし

た。宇宙飛行士で胸部外科
医でもある向井千秋先生に
は「宇宙医学は究極の予防
医学」と題して宇宙におけ
る医学、医療について講演
していただきます。また、
Postgraduate course 特別
講演として、福井大学医学
部附属病院救急部の寺澤秀
一教授に「福島第一発電所
事故の教訓」というテーマ
で講演していただきます。
原発事故に対する米国式の
対策についてもお話しした
だけのものと期待していま
す。医療安全講習会では私
が日頃からお世話になって
いる久留米大学臨床感染医
学の渡邊浩教授に「胸部外
科医のための感染予防・ア
ウトブレイク対策」につい
て講演をお願いしました。

12名(北米7名、欧州5
名)の海外からの招請講演
を予定しています。心臓血
管外科8名、呼吸器外科2
名、食道外科2名です。教
育ビデオセッションではこ
れら海外招請者の手術映像
を供覧していただきます。
特に、英国 Dundee 大学の
Cusack 教授は、我が国
で急速に普及している鏡視
下食道切除術、腹臥位鏡視
下食道切除術を世界最初に
行った先生であり、その講
演は若い食道外科医に大き
なインパクトを与えること
でしょう。

本学術集会の目玉は7つ
の特別企画です。「胸部外
科に関連する専門医制度の
現状と将来」では、日本心
臓血管外科学会、日本呼吸
器外科学会、日本食道学会

はです。従って、その学
術集会は「胸部疾患の外科
的治療」という共通点を有
する専門家が互いに「知恵
を出し合う場である」と共
に、胸部外科医の「コモン
センスを磨く場でもありま
す。第65回定期学術集会は
このテーマのもと、日本胸
部外科学会の歴史的背景を
振り返るとともに、各分野
に共通する病態あるいは複
数の分野にまたがる疾病に
ついて最新の治験を集める
ようにプログラムを組みま
した。

の専門医制度委員会委員長
のほか、日本専門医制
評 価・認定機構理事長である
池田康夫先生にも討論に参
加していただきます。「鏡
視下手術、インターベンシ
ョン手術中のアシテント
とその対策」では、3分野
で広く行われている鏡視下
手術、インターベンション
手術におけるアシテント
への対策について分野を超
えた議論を期待していま
す。「胸部外科における最
新の周術期管理」では、3
分野における最先端の周術
期管理方法を紹介してもら
い、他領域の会員に新しい
周術期管理のヒントを与え
ていただきたいと思います。
「戦後の日本における
胸部外科の歴史」では、
戦後から昭和末までの胸部
外科を体験された3分野
の長老の先生に我が国の胸
部外科の歴史を振り返って
いただき、将来への方向性
を示していただければあり
がたいと考えています。近
接する胸部三臓器(大動脈、
気管気管支、食道)の間に
瘻孔を形成することは稀で
なく、その治療は3分野の
医師の協力がなければなし
得ない。特別企画「大動脈
食道瘻、大動脈気道瘻、食
道気道瘻」では、3分野の
技術を集学して如何にして
この疾患を治療するか議論
してもらいます。「医師の
処遇改善ワークショップ」
では、胸部外科医の処遇を
改善するにはどうすべき
か、外保連の岩中督会長補
佐、佐賀大学附属病院の宮

崎耕治病院院長を交えて議論
していただきます。
その他、心血管分野では
4つのシンポジウムと4つ
のワークショップ、呼吸器
分野では2つのシンポジウ
ムと1つのワークショップ
、食道分野では各1つの
シンポジウムとワークショ
ップを組みました。いずれ
もプログラム委員会から推
薦されたホットなテーマに
選んだつもりです。

演題採用数
全演題の応募数は154
4題、採択率は57%でした。
一般演題、Case Report、
クリニカルビデオの応募演
題数は1204題(心血管
811題、呼吸器322題、食道59
題、胸部外科一般12題)、
そのうち772題(心血管63%、
呼吸器65%、食道86%、胸
部外科一般50%)を採用さ
せていただきました。一般
演題(口演、ポスター)の
採択率は77%、Case Report
は23%、クリニカルビデオ
は63%でした。プレナリー
セッションでは、応募され
た873題の一般演題の中から
査読で最高得点を得た4題
(心血管2題、呼吸器1題、
食道1題)を発表してい
た
だ
き
ま
す。
賞
状
と
共
に
豪
華
な
副
賞
を
用
意
し
て
い
ま
す。
Case Report Award では、
応募された197題の症例報告
の中から査読で得点の高か
った10題(成人心臓3題、
大血管2題、先天性心疾患
1題、呼吸器3題、食道1
題)を選考しました。やは
り豪華な副賞を用意してい

ます。特別企画、シンポジ
ウム、ワークショップには
340題の応募があり、採択率
は32%でした。残念ながら
上級演題に不採択でも、内
容の優秀な演題は口演、ポ
スター発表の機会を用意し
ました。
発表演題数も多く、特別
企画も欲張りしましたので、
口演発表は7会場、ポスター
発表は2会場となりまし
た。会場数が多くなり、会
員の皆様にはご不便をおか
けするかもしれませんが、



藤田 博正
(久留米大学医学部外科学(食道外科) 教授)
1972年 慶應義塾大学医学部卒業
1972年 慶應義塾大学医学部訓練医(外科学教室)
1978年 国立栃木病院外科
1982年 産業医科大学助手(第二外科学講座)
1984年 産業医科大学講師(第二外科学講座)
1985年 久留米大学医学部講師(第一外科学講座)
1990年 ドイツTechnical University of Munich 外科学

1994年 久留米大学医学部助教授(第一外科学講座)
2000年 久留米大学医学部教授(外科学講座)
趣味: 囲碁
〔「NHK杯テレビ囲碁トーナメント」を観戦しながら昼寝〕
好きな言葉: 熟慮断行

会員各位 通常総会のご案内

特定非営利活動法人日本胸部外科学会通常総会を
定款第26条により開催致したくご通知申し上げます。

日時 2012年10月18日(木) 13:00～13:50

会場 福岡国際会議場 メインホール(第1会場)
〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1 TEL:092-262-4111

【付議事項】

1. 事業報告承認の件
2. 決算報告承認の件
3. 役員選任の件
4. その他

特定非営利活動法人日本胸部外科学会
理事長 坂田隆造
会長 藤田博正

上記の通常総会にご出席の方は、通常総会案内状(別便往復はがきで会員へ発送いたしました)を受けた会員に限ります。学術集會にご出席の方でも、上記通常総会にご欠席又は出欠が未定の場合は、必ず捺印の上、委任状をお出し下さい。なお、議長以外の会員の方を代理人とする場合は、代理人の氏名をご記入下さい。代理人氏名記入のない委任状は、議長を代理人としたものとして取り扱います。

会員の皆様には、益々ご健勝の御事と存じます。昨年の評議員会速記録及び総会速記録は、既に本会ホームページ(会員専用)に掲載されております。なお、議決を伴う事業報告及び収支決算報告及び監事の選任については、既に評議員会及び総会において満場一致にて議決されております。以上、ご報告申し上げます。

ご容赦ください。
なお、第13回国際食道疾患会議のWorld大会が同年10月15日(月)～18日(木)、ベニスで開催されます。第65回定期学術集會では、後半にも食道関連のセッションを沢山用意しています。ISDEに出席される先生も、是非とも早めに帰国され福岡の学会に参加されることを切望いたします。

本学術集會の準備に当たります。日本胸部外科学会会員とくにプログラム委員、査読委員の先生に多大なるご協力を賜りました。深く御礼申し上げます。会員の皆様の第65回定期学術集會へのご参加を心より歓迎いたします。

第3回理事会ニュース

日本胸部外科学会第3回理事会

2012年3月30日(金) 13:00～16:30

一、評議員選挙結果について(天野理事長)

3月22日に選挙管理委員会による開票結果が報告され、承認された。

二、推薦評議員選任について(坂田理事長)

選挙評議員の欠員1名を含む11名(分野別人数:心7名・肺3名・食1名)を推薦評議員候補者として選出し、本理事会でも承認された。

三、学術集會運営会社の最終選定について(金子理事)

2社が学術集會予算書(仙台・福岡・東京)に基づきプレゼンテーションを行った結果、現在、2年契約で学術集會運営を依頼している会社が再選定された。契約は3年契約とし、毎年評価を行い問題がなければ継続することを契約書に明記する。

四、委員会報告及び審議事項

(一) 会誌編集委員会(大北理事)

①受付・掲載論文数(受付論文数は42編の新規投稿、Review Articleの増加、Case ReportのReject率は42.3%) ②5月号掲載予定論

文③IF取得のための算出方法などに関する編集委員会からの文書を全会員へ配布することが報告された。審議事項として、COI(利益相反)に関する英訳の件が提案され、COI委員会で担当する。

(二) 学術委員会(桑野理事)

①2010年学術調査結果のまとめをGTS誌掲載のため心臓は天野委員、肺は横見瀬委員、食道は桑野委員長に依頼 ②2011年調査票改訂で死亡数を3分野ともこれまでの「30日死亡」を「院内」と「院外」とに分けた。総死亡数は30日院外死亡+在院死亡となる ③学術調査結果の公開について、特定の手術について施設名を公開しないで手術数と死亡数について公開を行うこととし、公開に関する意見と今後施設名を公開してもよいかのアンケート調査を行うなどが報告された。審議事項として、手術の質の判断について、本委員会で行うか、それぞれの専門医制度(医療安全等の問題もあり)に提言すべきか理事長から諮問があり、検討した。その結果、データ検証のため各専門医

制度委員会(心臓血管外科専門医認定機構・呼吸器外科専門医合同委員会・食道学会)から要望書を提出いただき、評議員会で承認を得る手続きで行う。

(三) 学術集會委員会(近藤理事)

招聘講演、教育講演、セミナーなど、どの学会においても企画物が重要な位置付になり、教育の場としての意義が強くなりすぎている点を今一度見つめ直し、研究発表と議論の場としての意義を高めるようなスタイルを考えている。

(四) 第65回学術集會準備状況(藤田会長)

①会場使用計画 ②指定演題プログラム ③収支予算書 ④IT関係の導入状況について報告された。審議事項として、日本製薬団体連合会に加盟している日本たばこ産業株式会社への寄付依頼について検討した結果、依頼を行わないことになった。医療機器展示については、会長一任とする。

(五) 財務委員会(篠田理事)

第64回定期学術集會収支計算書(案)が提出され、学会からの会長補助金について意見交換がなされた。

(六) 専門医制度委員会

①心臓血管外科専門医認定機構(角理事) データベース専門委員の追加 機構代表幹事の交代、外科専門医との連携、修練医アンケート結果、ASCTS 2013総会及びセミナーの件が報告された。外

科専門医との連携では、日本外科学会からサブスペシヤルティ専門医取得済みであればサブスペシヤルティ専門医の認定期間まで外科専門医認定期間を延長することが可能との通達があり、アナウンスする。修練医アンケートでは、修練責任者の修練医への対応で満足している修練医が70%に達し、今後登録制度を確立すべく機構規則に盛り込む予定である。

(七) 呼吸器外科専門医合同委員会(千原理事)

2012年呼吸器外科専門医試験結果、認定修練施設、本会との合同学術調査未回答施設の資格、日本専門医制評価・認定機構について報告された。なお、学術調査への回答を専門医認定修練施設手術実績報告の代替としている。

(八) 食道外科専門医制度(藤田会長)

現在、暫定食道外科専門医(77名)と食道外科専門医(89名)が認定されているが、全体でも200名前後になる、施設認定が今年から開始される、手術記録の術者記載の件、食道学会の専門医は広告できる専門医ではなく、3階建ての専門医制度であるなどが報告された。

(九) 研究・教育委員会(小林理事)

本会からの呼吸器外科サマースクールへの拠出金200万円が承認された。

(十) 診療問題委員会(小山理事)

平成24年度診療報酬改定

で考慮された技術新設、技術改正、複数手術に係る費用の特例追加、平成26年度改訂に向けて分野ごとの見直しが始まっているなど報告された。また、コンテグラ早期導入に関する検討会で行ったアンケート調査が報告された。

(八) 広報(Homepage-Internet)委員会(千原理事)

ホームページのリニューアル、Newsletterの紙面構成の再検討、委員の任務分担を予定しており、委員会を4月に開催することなどが報告された。審議事項として、第65回学術集會から演題募集一斉送信メールの依頼があり、検討の結果、実施する。また、第64回学術集會の会長講演のストリーミング配信の依頼があり、費用を会長負担とし1年間配信する。次年度以降はアクセス数をみて判断する。

五、対外委員会報告事項

(一) NCD社員総会報告(小川副理事長)

2011年度事業報告、2012年度事業計画、役員選任などが報告された。

(二) 外科関連学会協議会への回答(坂田理事長)

「症例報告を含む医学論文及び学会研究会における患者プライバシー保護に関する指針」改訂の件につき持ち回り理事会にて、変更することに賛成多数と回答した。後日、協議会から変更は行わないとの回答があった。

(三) 日本外科学会ガイドライン検討委員会からの意見募集(坂田理事長)

「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の意見募集について、案に賛成と回答した。

(四) コアグレーションを用いた抗凝固療法の見直し(坂田理事長)

3学会連名で厚生労働大臣宛てに要望書を提出した。

(五) 看護師特定能力認定制度に関する要望書の提出(坂田理事長)

外科関連学会加盟学会の連名で厚生労働大臣宛てに要望書を提出した。

(六) 日本医学会役員選挙結果(坂田理事長)

第79回日本医学会定例評議員会(3月22日開催)において行われた役員選挙(次期会長・副会長・幹事)が報告された。

(七) 外科系学会社会保険委員会連合会の決算書及び分担金支出について

平成23年度収支計算書及び平成24年度予算書が報告された。また、平成24年度分担金200,000円は拠出する。

(八) 社団法人日本専門医制評価・認定機構から次期役員選考にあたって、本会からは坂田理事長を推薦する。

(九) 補助人工心臓治療関連学会協議会(澤監事)

Dura Heartドライブライン断線については、今後、Dura Heart有害事象検討委員会を中心に検討する。

第4回理事会ニュース

日本胸部外科学会第4回理事会

2012年5月8日(火) 13:00~15:20

一、委員会報告及び審議事項

(1) 正会員選出委員会 (加藤木理事)

定款施行細則第18条により、正会員申請受付を5月1日まで行い、胸部外科関係専門医取得者73名(心臓45名、呼吸器24名、食道・その他4名)の申請があったことが報告された。

(2) 会誌編集委員会 (大北理事)

①編集委員に2名追加
②論文投稿状況
③Online Firstによる論文掲載の開始
④Online First導入に伴い表紙にカラー写真を掲載
⑤review articleは特に心臓分野の依頼を増やす
⑥委員会活性化のため定期的に会議を開催すること(理事會前の時間帯)が報告された。審議事項は学術集會に關連して①PGC講師への論文の依頼②医療安全講習會は論文形式は難しいが承諾を得られれば依頼③教育セミナー「英語の論文の書き方・文献管理ソフトの使い方」を開催することが提案され、承認された。

(3) 学術委員会 (桑野理事)

①2011年学術調査票の発送を完了②2010

年の最終報告書を作成中
③学術調査結果(データ)の取り扱いについて、各専門医制度で利用するに当たり、この秋の評議員会です承を得ることを再確認した。

(4) 財務委員会 (篠田理事)

学術集會における学会からの拠出金の考え方について、税理士の見解が報告され、引き続きの検討事項とする。

(5) 倫理・安全管理委員会 横見瀬理事(代理)

①会員2名の倫理に関する件は、概要が説明され、第1段階として委員会検討し、第2段階として次回第5回理事会にて最終決定する。

(6) 広報 (Homepage・Internet)委員会(千原理事)

委員会を①国内向けホームページJapan、②海外

(7) 処遇改善委員会(川

筋理事)

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(8) COI委員会 (加藤木理事)

COIの英訳版が提出され、今後、ホームページへ掲載する。

(9) 日本専門医制評価・認定機構 (坂田理事長)

日本専門医制評価・認定機構への本年度の分担金(会費20万円・呼吸器外科専門医負担金58,400円)を支払うことが承認された。

(10) 日本外科学会保険診療委員会委員の件 (坂田理事長)

前年度に引き続き委員を依頼することで承認された。

使用等基準策定事業 (坂田理事長)

コンテグラの早期導入に関して引き続き検討している。

(2) 外科関連専門医制度委員会 (坂田理事長)

COIの進捗状況、日本外科学会認定登録医の取り扱い、心臓血管外科専門医認定機構から日本外科学会への要望などが報告された。

(3) 日本外科学会「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の件

上記ガイドラインが日本外科学会社員総会において、正式なガイドラインとして認められたことが報告された。

(4) NCDからの報告 (坂田理事長)

2012年4月5日をもって、2011年の症例入力が終了したので、各領域のアンリアルレポートを作成予定につき、各学会の代表委員にレポートに含めるべき項目を依頼中である。

(5) 植込み型補助人工心臓治療関連学会協議會中間報告 (澤監事)

平成24年度の植込み型VAD保険償還改訂が行われ、91日目以後の大幅な保険償還改訂、植込み補助人工心臓適用条件の緩和、Dura Heartドライブライン断線トラブルに対する対策として、Dura Heart有害事象検討委員会及び特別使用適応検討委員会の2委員会を設置したことが報告された。

(6) 日本医師会関係

平成24年度「日本医師会

(7) 処遇改善委員会(川

筋理事)

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(2) 外科関連専門医制度委員会 (坂田理事長)

COIの進捗状況、日本外科学会認定登録医の取り扱い、心臓血管外科専門医認定機構から日本外科学会への要望などが報告された。

(3) 日本外科学会「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の件

上記ガイドラインが日本外科学会社員総会において、正式なガイドラインとして認められたことが報告された。

(4) NCDからの報告 (坂田理事長)

2012年4月5日をもって、2011年の症例入力が終了したので、各領域のアンリアルレポートを作成予定につき、各学会の代表委員にレポートに含めるべき項目を依頼中である。

(5) 植込み型補助人工心臓治療関連学会協議會中間報告 (澤監事)

平成24年度の植込み型VAD保険償還改訂が行われ、91日目以後の大幅な保険償還改訂、植込み補助人工心臓適用条件の緩和、Dura Heartドライブライン断線トラブルに対する対策として、Dura Heart有害事象検討委員会及び特別使用適応検討委員会の2委員会を設置したことが報告された。

(6) 日本医師会関係

平成24年度「日本医師会

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(8) COI委員会 (加藤木理事)

COIの英訳版が提出され、今後、ホームページへ掲載する。

(9) 日本専門医制評価・認定機構 (坂田理事長)

日本専門医制評価・認定機構への本年度の分担金(会費20万円・呼吸器外科専門医負担金58,400円)を支払うことが承認された。

(10) 日本外科学会保険診療委員会委員の件 (坂田理事長)

前年度に引き続き委員を依頼することで承認された。

二、第65回定期学術集會について (藤田会長)

①5月15日演題締切日であるが、1,000題を超えていなければ一週間位延長

三、対外委員会報告事項

①厚生労働省・委託事業検討依頼「新医療機器

(1) 厚生労働省・委託

事業検討依頼「新医療機器

(6) 日本医師会関係

平成24年度「日本医師会

(7) 処遇改善委員会(川

筋理事)

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(2) 外科関連専門医制度委員会 (坂田理事長)

COIの進捗状況、日本外科学会認定登録医の取り扱い、心臓血管外科専門医認定機構から日本外科学会への要望などが報告された。

(3) 日本外科学会「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の件

上記ガイドラインが日本外科学会社員総会において、正式なガイドラインとして認められたことが報告された。

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(8) COI委員会 (加藤木理事)

COIの英訳版が提出され、今後、ホームページへ掲載する。

(9) 日本専門医制評価・認定機構 (坂田理事長)

日本専門医制評価・認定機構への本年度の分担金(会費20万円・呼吸器外科専門医負担金58,400円)を支払うことが承認された。

(10) 日本外科学会保険診療委員会委員の件 (坂田理事長)

前年度に引き続き委員を依頼することで承認された。

二、第65回定期学術集會について (藤田会長)

①5月15日演題締切日であるが、1,000題を超えていなければ一週間位延長

三、対外委員会報告事項

①厚生労働省・委託事業検討依頼「新医療機器

(1) 厚生労働省・委託

事業検討依頼「新医療機器

(6) 日本医師会関係

平成24年度「日本医師会

(7) 処遇改善委員会(川

筋理事)

今秋の第65回定期学術集會のワークシヨップにおいて「処遇改善の取り組み事例(課題)」を行う予定であることが報告された。

(2) 外科関連専門医制度委員会 (坂田理事長)

COIの進捗状況、日本外科学会認定登録医の取り扱い、心臓血管外科専門医認定機構から日本外科学会への要望などが報告された。

(3) 日本外科学会「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」の件

上記ガイドラインが日本外科学会社員総会において、正式なガイドラインとして認められたことが報告された。

医学賞」及び「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦依頼について評議員に案内する。また、日本医師会疑義解釈委員会に診療問題委員会委員長を推薦したことが報告された。

(7) 外科系学会社会保険委員会連合(外保連)について

平成26年度社会保険診療報酬改訂に向けて画像診断試案作成ワーキンググループに、本会から委員を推薦

したこと、平成24年度診療報酬改訂に関する意見を評議員に求めたことが報告された。また、平成25年度から学会分担金の値上げの件は、承認された。

会員証と学術集會参加登録について

先行してホームページで告知しておりますとおり、**昨年導入された会員証を用いて本年も学術集會参加証の発行をいたします。必ず会場にお持ちください。**現在お持ちでない、2011年9月中旬~2012年9月10日(月)の間に新入会・復会・会員証再発行申込された方には、10月初旬より順次お手元にお届けいたします。
会場の参加受付機に会員証をかざすと、氏名(漢字・ローマ字)、所属などが参加証に印字・発行されます。印字内容は10月11日(木)時点でお届け出の情報に基づきます。変更はお早めにお済ませください。なお、会員証・参加証ともに外字(PC環境で上手く表示されない文字)は置き換えて印字されます。何卒ご了承ください。
会員証を忘れた方、紛失された方は総合案内(福岡国際会議場1階)にて仮会員証を発行いたしますが、確認のためお時間がかかりますことを予めご了承ください。なお、会場では再発行の申請は受付いたしません。下記をご確認の上、別途申請願います。

各種申請	①手続	②手数料納入	③会員証発行
新入会・復会	不要	不要	9月10日(月)までの受付分は10月初旬順次発送。
紛失・破損・汚損	再発行の理由を記載し、会員管理システム専用窓口(jats-manager@umin.net)まで申請。破損・汚損した会員証は自身で処分。	①に続き、再発行料¥3,000(税込)を納入。 口座：みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金2288186 名義：特定非営利活動法人 日本胸部外科学会 トクヒニホンキョウブゲカガクカイ ※振込人名を必ず入力	11日(火)以降の受付分は2013年秋に発送。
改姓・改名	新旧の姓名を併記した書面と既存の会員証を同封し、事務局へ郵送。	不要	
退会	退会の旨、会員管理システム専用窓口(jats-manager@umin.net)に申請、または会員専用ページより申請。会員証は自身で処分。		

追悼

2011年05月16日から2012年8月17日まで届け出をいただいた逝去者一覧

川田 光三	2009/11/15
大林 協治	2010/4/16
神田 博	2011/1/1
大井川 健	2011/3/13
佐藤 裕士	2011/4/14
中島 芳道	2011/4/23
川口 仁	2011/5/1
田中 正躬	2011/6/10
中山 隆市	2011/6/17
福慶 逸郎	2011/6/23
榊原 欣作	2011/8/22
山腰 茂昭	2011/11/5
篠崎 卓雄	2011/12/13
岡田信一郎	2011/12/28
赤坂 忠義	2011/12/29
羽田 圓城	2012/1/4
遠藤 光夫	2012/1/16
杉 和郎	2012/2/10
石井 昇	2012/2/11
石山 和夫	2012/4/10
清水 慶彦	2012/4/30
松石 理秀	2012/5/6
堀内 藤吾	2012/8/1
阿部 良行	(不祥)
飯田 竹美	(不祥)
海津 紀生	(不祥)



若手医師の立場から

専門医を取得されている、もしくは取得を目指す若手の先生方に、日々感じていること、将来の目標などを語っていただきました。

若手外科医の立場から

私は現在、卒業後5年目で今年の4月より外科医のsubspecialtyとして呼吸器外科への道を選択しました。今回はその動機や今後の目標について、語らせていただきます。

初期研修が終了した後、一般外科で2年間、外科医としての修練を積みました。その中で（主に肺癌の手術が中心でしたが）呼吸器外科の分野に接する機会もありました。はじめは手術手技を学ぶひとつとして捉えていた呼吸器の手術が、手術適応の難しさから始まり手術手技の奥深さなど呼吸器外科特有の世界への理解が深まるにつれてその魅力に夢中となってしまいました。また、私には3歳年上の兄がおり、彼もまた呼吸器外科医です。私事ではありますが、父親を早くに亡くしたこともあり、男親代わりに私の面倒をみてくれた兄の背中を見て育ったということも今回の決断に強く影響していると思います。

外科の道を進むこととなった私は、現在、兵庫県の宝塚市立病院で呼吸器外科医として修練を積んでいます。ここでは時代に先駆けて肺癌をはじめ呼吸器外科の各分野での鏡視下手術に力を入れてきたという特徴があります。指導医の先生方からはその伝統と技術を惜しみなく指導して頂いており、充実した研修の日々を過ごしています。今は市中病院での研修で呼吸器外科医としての基礎を学んでおりますが、幸運なことに所属している大阪大学呼吸器外科教室では肺癌以外にも、胸腺疾患、肺移植、炎症性疾患などの多岐にわたる分野を専門的に扱っているため、将来的にはこれらの

小児心臓外科医を目指して

私は福岡市立こども病院・感染症センター心臓血管外科に勤務する卒業4年目です。

現在日々多くの先天性心疾患を診療していますが、小児心臓外科を学ぶ動機となったのは血行動態の異常というものへの興味と再建

も十分に学んできたいと思っています。

さらに、本学会を通じて呼吸器のみならず胸部外科分野の様々な知識や技術を積極的に取り入れて、これらを活用しながら、呼吸器外科医としてだけでなく胸部外科医としても大きな視野を持って成長していきたいと思っています。



木村 賢二
(宝塚市立病院 呼吸器外科)
2008年 鳥取大学医学部 卒業
初期研修修了し、その後2年間一般外科医として研修を経て現在に至る。
趣味：お笑い番組を見ること
好きな言葉：情けは人の為ならず

による患児のQOLの上昇が期待でき、その診療に携わりたいと考えたことでした。

大学卒業後は名古屋市立大学病院にて卒後臨床研修を終了し、卒業3年目より福岡市立こども病院・感染症センターで研修をさせていただいています。

当院の特徴としては①手術件数が多い…年間400以上の手術例がありそのほとんどが複雑心奇形、ポンプ症例だけでも300例以上である

こと、②学会発表が豊富…日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本小児循環器学会の3つの全国学会発表の可能性があること、③当院？はもろろんのこと、福岡の女の子が皆素敵だということです。

個人的なこととして①昨年は150例程度の手術参加をさせていただきました。②今年の日本心臓血管外科学会総会、日本小児循環器学会にて一般口演で発表させていただくことができませんでした。③少ない空き時間を利用して婚活をしたいと考えているのですが、なかなかうまくいかないのが現状です。

当院のスタッフの構成としては、修練指導責任者は角秀秋先生で、以下中野俊秀部長をはじめとする心臓血管外科専門医が4名、外科専門医が1名、外科専門医修練中医師2名の合計8名で診療を行っています。

修練についてですが、当院での修練目標としては1年目術者5〜10例、2年目以降は術者10〜15例を基本とし心臓血管外科専門医を取得するのに5〜6年程度で達成できるようなプログラムになっています。

日々の業務は手術への参加と、それ以外では病棟当番と手術外回りをしています。それとは別に毎週の病棟総回診担当と、毎週2回の手術症例カンファレンス担当をしています。カンファレンスでは複雑心奇形の検査の見方、手術適応など

多くのことを学ぶことができます。多くのことを学ぶことができます。



松前 秀和
(福岡市立こども病院 感染症センター心臓血管外科)
2009年3月 三重大学医学部医学科卒業
2011年3月 名古屋市立大学病院初期研修課程修了
2011年4月 福岡市立こども病院・感染症センター心臓血管外科レジデント
現在に至る
趣味：ドライブ
好きな言葉：破天荒

多くのことを学ぶことができます。

当院の研修の良いところは、手術参加症例の多さと複雑心奇形の術後管理を徹底的に学ぶことができることだと思っています。

改善要望点としては、症例に複雑心奇形が多く直接手術手技に多くかかわることができないので、web Labの開催回数の増加と直接指導があれば良いと考えます。

当院で2年目の研修となりますが、まずは見様見真似で仕事を覚えるということとを目標とした昨年とは違い、ひとつひとつの物事を考えてより良い判断ができるように、また技術的にもさらなる上達を目指したいと考えています。

角先生、中野先生をはじめ多くの方々に直接指導していただけることを感謝しながら、これからも前進していきたいと思っています。

私が呼吸器外科を志した理由

生涯をかけて自らの技術を磨き続けてゆくと、そのストイックな職人気質にあこがれ、外科医という道を選んでからはや5年が経ち、忙しいながらも自分なりに楽しみつつ毎日を過ごしております。

卒業してから最初の5年間の研修は、目標とすべき魅力的な先輩方や素晴らしい仲間達に恵まれ、医師としてのスタートを切るにあたり大変充実したものでしたが、多くの先生方と出会いの中で、その生き様も様々であることを目の当たりにしました。

そのような中で私の心に残っているのは、「名をあげることに固執するのではなく、『この街にあの先生』の開催回数の増加と直接指導があれば良いと考えます。

当院で2年目の研修となりますが、まずは見様見真似で仕事を覚えるということとを目標とした昨年とは違い、ひとつひとつの物事を考えてより良い判断ができるように、また技術的にもさらなる上達を目指したいと考えています。

角先生、中野先生をはじめ多くの方々に直接指導していただけることを感謝しながら、これからも前進していきたいと思っています。



三好 智裕
(国立がん研究センター東病院 呼吸器外科)
2007年 京都大学医学部卒業、社会福祉法人三井記念病院 初期研修
2009年 呼吸器外科後期研修
2012年 国立がん研究センター東病院 呼吸器外科レジデント
趣味：写真
好きな言葉：なんのこれしき

がいてくれてよかった」といわれ、頼りにされる医師を目指しなさい」という当時の上司の言葉でした。この言葉は私にとって、自らの将来像について具体的に考え始めるきっかけとなりました。

私が呼吸器外科を専門として選んだ理由は、手術という点においては大血管を扱うダイナミックな加え、胸腔鏡手術から拡大手術、果ては移植にいたるまで非常に多様な性に富んでいるということ

が、もともと学生時代に国際保健や途上国医療といった分野に興味があり、癌だけでなく感染症やCOVIDなど、現在あるいは今後も人類にとってますますその重要性を増してゆくであろう呼吸器疾患群を扱うことに大変大きな魅力を感じたためです。

その中でも主たる対象である肺癌についてまずは徹底的に学ぼう

がいてくれてよかった」といわれ、頼りにされる医師を目指しなさい」という当時の上司の言葉でした。この言葉は私にとって、自らの将来像について具体的に考え始めるきっかけとなりました。

2012年 専門医試験のご案内

心臓血管外科専門医 認定試験	呼吸器外科専門医 認定試験	食道外科専門医 認定試験
<p>日 時 ● 2012年11月16日(金)</p> <p>集合時間 ● 12:30</p> <p>試験時間 ● 13:00 ~ 16:00 (3時間)</p> <p>会 場 ● 秋葉原コンベンションホール 2階 東京都千代田区外神田1-18-13 TEL: 03-5297-0230</p> <p>*詳細はホームページをご覧ください。 http://cvs.umin.jp/</p>	<p>日 時 ● 2012年11月22日(木)</p> <p>集合時間 ● 12:30</p> <p>試験時間 ● 13:00 ~ 16:00 (3時間)</p> <p>会 場 ● 秋葉原コンベンションホール 2階 東京都千代田区外神田1-18-13 TEL: 03-5297-0230</p> <p>*詳細はホームページをご覧ください。 http://chest.umin.jp/</p>	<p>日 時 ● 2012年11月23日(金)</p> <p>会 場 ● 東京歯科大学 水道橋病院 東京都千代田区三崎町2-9-18</p> <p>*詳細はホームページをご覧ください。 http://esophagus.jp/</p>

昨年の学術集会より会員カードが導入されました。すべてのことに経費が生ずるのは当然とはいえ、再発行手数料を見てバックや引き出しの中の他のカードに混ざって一瞬どこ?と思われた会員もいると推察します。大切なものとして欲しいとやや高い額が設定されたようです。

この会員カードを用いて、将来的には種々の手続きが簡素化されるのが望まれます。

一面は藤田会長よりの秋の学術集会へのご案内です。学問のEspoirのみならず、社会性を意識された企画と感じます。

発表を見て聞いて、駆け巡る考えをその場でまとめやりとりするinspire expoのやり取り、これが集会の本髄です。それぞれの領域の会員が普段踏み込まない隣の領域に行つて刺激し合う学術集会になることを願っています。

皆さん会員カードを持って福岡に集まりましょう!

本学会のシンボルカラーは赤です。Newsletterの表紙を飾る色が私たちのカラーです。日本は赤と白が基本のカラーですが、オリンピックやワールドカップでは大活躍するサムライジャパンのブルーも馴染んできました。Thoracic Surgeon Redの若き会員の記事はいつもなごり元気をくれます。

会員の皆様には学会雑誌GICSの表紙を飾る写真にお気づきでしょうか? Newsletter、学会のホームページも近々新しいものに変わつて行く予定です。乞うご期待!

広報委員会委員長 千原幸司

16

JATS NEWSLETTER No.16

JUST NOW JATS

2012年9月10日発行

発行◎特定非営利活動法人 日本胸部外科学会

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F

TEL◎03-3812-4253 FAX◎03-3816-4560

URL◎http://www.jpats.org/

編集◎日本胸部外科学会 広報委員会

E-mail◎jats-adm@umin.ac.jp

デザイン・制作◎株式会社 杏林舎